張力がかかったフラットベルトの性能チェックリスト

以下のような、よく発生する不具合がないかフラットベルトを点検してください。これらの項目に1つでも該当する場合は、新規または既存のラインで、Intralox®確実駆動ベルトに切り替えることをお勧めします。**該当する項目が多いほど、稼動停止時間や製品損傷による利益損失のリスクが高まります。**

織布ベルトの摩耗

織布ベルトの接合部分や、過度な使用によって、織布ベルトの層がほつれ始めています。露出した繊維に汚染物質が付着している、あるいは汚染物質となっている可能性があります。

レース接続の微生物繁殖箇所

フラットベルトの端を繋ぐ金属レース接続のため、清掃がゆき届かなくなり、汚れや汚染物質がたまってしまう結果となります。

蛇行

搬送品荷重が不均一な場合、シャフトの配置が完璧であってもベルトが左右に振れることがあります。これを防ぐために、軌道ガイドが設置されていることがありますが、それが新たな微生物の繁殖箇所になる場合があります。

エッジのほつれ

ベルトが蛇行している間に、ベルトのエッジがコンベアのフレームに接触すると、早期に摩耗して異物混入（FMC）のリスクが生じます。

ベルトの伸び

高い張力で運転すると、ベルトは時間の経過とともに伸びてしまいます。そのため、適切な張力を維持し、スリップや故障を防ぐために、ベルトを頻繁に締め直す必要があります。

ひび割れ（表面ひび割れ）

絶え間ない摩擦と張力により、フラットベルトの材質は急速に疲労し、弾力性を失い、表面にひび割れが生じ始めます。これもFMCのリスクです。

異物混入

これらの不具合のいずれかが、今回の検査で発見された製品汚染につながっています。この項目に該当する場合、ベルトは食品安全上問題があり、直ちに交換する必要があります。

新しい基準への切り替えについては、イントラロックス・カスタマーサービスにお問い合わせください。

© 2025 Intralox, L.L.C. 5016497_JA